

令和7年度 かほく市立高松小学校 学校評価中間報告

3者アンケート結果

経営目標	取組内容	主担当	現状	評価の観点	対象	A	A+B	判定	R6前期との比較他	今後の方針（改善）	学校運営協議会より		
(1)めざす児童像達成のため	①自分や友だちを大切に する子 (児童会2) 縦断的・横断的・対人的な関係性を築き、自己肯定感を高める必要がある。	ア 多様性を認め安全安心な風土の醸成	生徒指導部	特別支援教育の理解と児童のニーズに合ったきめ細かな支援が必要である。	学校へ行くのは楽しいですか（市共通見①）	児童1	76.0%	93.6%	A	R6：A67.6% A+B96.9% CDE児童15～24名	2極化が見られる。一人一人が楽しいと思えるように、児童の良さや努力を認め、広めていく。	・CDEの児童に対する対応を丁寧にしてほしい。	
		イ 「いいところみつケ」等児童相互の肯定的な捉え	生徒指導部	児童一人一人のよさを引き出し、よりよい人間関係を構築し、自己肯定感を高める必要がある。	自分にはよいところがあると思いますか	児童2	60.5%	80.2%	B	R6：53.0% A+B87.1%	いいところみつケを行い、他者評価や自己評価を受け、自己肯定感が高まるようにする。	・いいところみつケは全員にいきわたるように注意してほしい。	
		ウ 「児童理解の会」でチーム対応	生徒指導部	一人一人の児童を把握し、チームで困り感に寄り添いながら他を肯定する心を育成する必要がある。	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（市共通見⑤）	児童3	91.5%	94.4%	A	R6：A92.6%、A+B評価98.7% 市CDE2.9%本校5.4%	いじめはいけないことである言動であることを引き続き、伝え続けていく。		
	②自ら考え、学び合う子 (児童会1) 他者理解を学び、他者理解を学ぶ一歩を踏み出す児童	ア 協動的な学びから主体的な学びにつながる授業	学習指導部	自ら学ぶ意欲を高め、学習に対し前向きな姿勢を育成する必要がある。	授業で自分の考えを書いたり話したりしていますか NEW	児童4	59.5%	83.5%	B	クラスごと66.7%～93.1%	前回の取組を振り返って計画をたてるような指導を行う。	・学力が確実に定着するような指導が望まれる。	
		イ 効果的な「学びたい」の推進	学習指導部	「学びたい」において、自分の立場を明確にする必要がある。	授業で自分の考えを書いたり話したりしていますか NEW	児童4	59.5%	83.5%	B		授業内で自分の考えを書いたり話したりする場を確保する。	・学力調査の結果が全てではないが、基礎学力の確実な定着を身につけさせてほしい。	
		ウ 授業の「振り返り」で実感を定着	学習指導部	個々が自分自身の伸びを認識し、肯定的にとらえる必要がある。	「学びたい」でわからないことがわかるようになりましたか NEW	児童5	67.5%	90.2%	A		自己の姿容に気付けるような振り返りの場を充実させていく。		
	③うまくいなくてもあきらめない子	ア 各種行事でのトライ＆ラン	特別活動部	様々な活動で失敗を恐れず挑戦し続ける態度を育成する必要がある。	失敗を恐れず挑戦しようとしていますか NEW	児童6	57.3%	82.6%	B		A評価は半数を超え、結果は概ね良好である。今後と同様な活動を継続していく。		
		イ 「わくわくタイム」の活性化と充実	特別活動部	自己犠牲をいとわず、他を思いやり、楽しませようとする態度が必要である。	「わくわくタイム」は楽しんでいますか	児童7	79.2%	92.0%	A	R6:A86.9%、A+B96.9%	今後も同様な活動を継続していく。	・これからも児童が思いを表出して、主体的に活動できるように支援してほしい。	
		ウ 「なかよしグループ」等の縦断的・横断的・対人的な関係性を築き、自己肯定感を高める必要がある。	特別活動部	他の失敗を肯定的に捉え、互いに応援できるような関係を築く必要がある。	下級生や友だちとの失敗も認め、思いやりを持って接していますか	児童8	69.3%	92.0%	A	R6:A66.9%、A+B98.4%	今後も同様な活動を継続していく。	その他 ・デジタル機器との付き合い方・・・スマホの所持率、使い方、使用時間、視力の低下等、児童の生活への影響と保護者の使い方を心配している。	
		ア 多様性を受け入れる教師	安全安心な風土の醸成を図り、一人一人の児童を大切に	生徒指導部	個々を肯定的にとらえ、挑戦を互いに応援する風土の醸成を図る必要がある。	先生はほめてはげましたりしてくれましたか	児童9	75.7%	91.4%	A	R6:A73.5%、A+B98.0%	教員同士で連携し合い、児童の情報を共有することで、児童の背景を考えて指導したり、児童の様々な良さを伝えたりできるようにする。	・PTCAは児童を通して、親保護者巻き込みの活動である。・・・今年は目の健康教室は講師の都合でできなかったが、保護者のためにもなる活動があるのはよい。
(2)めざす教師像	①高い力量を持った教師	児童の自立や対話的な学びを育む生徒指導や学習指導をする	学習指導部	教材研究を深め、児童が「わかる」と感じる、様々な考え方や相手と理解する必要がある。	授業はわかりやすいですか	児童10	69.6%	89.9%	B	R6:A68.7%+B97.2%	ねらいの達成を意識した教材研究を行っていく。		
		③総合的な人間力を備える教師	社会情勢や保護者の思いを的確に感じ、様々な考え方や相手と理解する	各担当	社会情勢や保護者の思いを的確に感じ、様々な考え方や相手と理解する必要がある。	学校の先生は話しやすいですか	保護者①	51.3%	89.9%	B	R6:A54.9%+B95.9%	昨年度前期より肯定的評価がやや下がった。保護者との連携を密にし、より信頼されるように努める。	
		ア 学習環境のユニバーサルデザイン化	健康安全部 学習指導部	児童の学習環境を整え、学びに向かいやすい必要がある。	教室で落ち着いた学習に取り組むことができますか	児童11	67.7%	90.6%	A	R6:A62.4%+B92.4%	今後も継続して、落ち着いた学習ができるように環境を整える。		
	①安全で安心できる学校	安全点検の簡素化による学校安全の確保	健康安全部	児童の安全安心を第一に考え、日頃から学習環境を整える意識をもつ必要がある。	日頃から学習環境の安全確保に努めていますか	教職員①	80.0%	100%	A	R6:A38.9% A+B94.4%	今後も継続して、安全確保に努める。		
		ウ 計画的な食育指導	健康安全部	児童の基本的な生活習慣を、各家庭との連携して整える必要がある。	毎日朝食を食べていますか	児童12	90.7%	97.1%	A	R6:A85.4%、A+B94.6%	今後も学級指導等で朝ごはんの重要性について指導する。		
				お子様へ毎日朝食を食べさせていますか	保護者②	87.3%	96.6%	A	R6：A90.8%+B97.0%	保健だよりや給食だよりを通して朝食の重要性について保護者に伝える。			
		ア ホームページの充実	各担当	ホームページやメール等を活用し、地域や保護者と連携する。	ホームページ更新を行いましたか（A:月には更新し、B:月に1回、C:行ったことがない、D:行ったことがない）	教職員②	15.4%	61.6%	D	R6:A11.8% A+B17.7%	昨年度前期よりだいぶ改善した。HPの更新を見据えて記録写真等を撮影している。	・ゲストティーチャーを学校に迎える活動もいろいろ、児童が地域に出て活動することもよい学習、体験になっている。	
	②保護者・地域と連携する学校	イ 地域人材の活用	ON・各担当	地域社会に関心をもち、地域についての理解や受容を深めることが必要である。	地域の方々から学んできましたか	児童13	85.1%	95.5%	A	R6：A79.7% A+B97.9%	A評価は上がったが、A+B評価はやや下がった。今後も地域人材を活用した教育活動を推進し、児童の満足度が高まるようにしていく。	・キャリア教育の視点をもって系統的で計画的に進めてほしい。	
				地域人材を活用した授業を行いましたか（A:月には活用し、B:月に1回、C:活用している、D:行かない）	教職員③	86.7%	86.7%	B	R6:A47.1% A+B88.2%	各学年、年間指導計画に基づいてコーディネーターと連携しながら地域人材を活用している。			
		ウ 地域への貢献	ON・各担当	地域とともに学び、地域に貢献しようとする心を育む必要がある。	学校や地域でしっかりと役割を担っていますか	児童14	76.0%	94.1%	A	R6:A77.2% A+B97.7%	両評価ともやや下がった。児童会を中心に地域でも校内同様元気に挨拶ができるようにしていく。	・中学校と連携することでもさらに充実させてほしい。6年生が行った職場体験は、中学生になって行くときにより意識が高まるのではないかな。	
ア 働き方改革の推進		校長・教職員各担当	負担が軽くなるように、スクラップ＆ビルドで業務の精選、業務の効率化に努める必要がある。	時間外勤務時間（NEW） （A:45分未満 B:45分～60分未満 C:60分～90分未満 D:90分以上）	時間外勤務調査	65.7%	83.6%	D		特にCDの3人には、業務改善への意識を高めるようにしていく。（※終わりの時刻を意識した働き方や学年の協力体制等の見直し）			
イ 教職員の協力協働		校長・教職員各担当	安心して自分の思いや意見を言える職場を醸成し、職員間の連携を高める必要がある。	職場は相談しやすい雰囲気ですか	教職員④	55.0%	100%	A	R6：A27.3% A+B86.4%	今後、A評価の割合が高まるように学年会、フロア会等を活かしながらさらに風通しの良い職場づくりに努める。	・ビルドばかりにならないように気を付けてほしい		
③教職員が働きやすい学校	ウ 多様性を受け入れる教師の育成	校長・教職員各担当	一人一人の児童を大切にしたい。できることをさらに高め、できる教師になる必要がある。	児童をほめて励ましたりしていますか NEW	教職員⑤	73.7%	100%	A		これから児童一人一人のよさが発揮できる活躍や挑戦の場を設定し、認め励ます指導、支援に努めていく。			